

平成26年度 指定管理者施設管理評価シート

部 福祉部 課 高齢福祉課

施設名称	〔16〕東京都台東区立特別養護老人ホーム三ノ輪					
指定管理者の名称	社会福祉法人台東区社会福祉事業団	指定期間	H22.4.1 ~ H27.3.31			
1. 指定管理者の概要						
(1)業務内容	台東区の児童及び高齢者福祉の充実による区民福祉の向上を図るため、児童館や高齢者施設の管理・運営を行う。					
(2)類似施設の管理実績	特別養護老人ホーム浅草・特別養護老人ホーム千束・特別養護老人ホーム谷中					
(3)経営状況	(25年度決算ベース) [社会福祉事業会計]歳入2,763,451,917円,歳出2,671,778,593円,収支差額91,673,324円					
2. 施設の概要						
(1)所在地	台東区三ノ輪1-27-11					
(2)設置目的	居宅において介護を受けることが困難な高齢者に対し、介護その他の日常生活上の世話、機能訓練、健康管理及び療養上の世話をを行い、高齢者の福祉の向上を図る。					
(3)利用者	常時介護が必要で、自宅での介護が困難な要介護者					
(4)開館日・時間	通年、24時間					
(5)規模	延べ床面積 9,617.23㎡のうち5,299.08㎡ 三ノ輪福祉センター内 鉄骨鉄筋コンクリート造地上9階地下2階のうち地上8階～地下2階部分 駐車場(共用)、浴室(機械浴、一般)、ボランティア室、居室、静養室など					
(6)人員体制	33名 内訳...施設長(1)、事務員(1)、相談員(1)、介護職員(常勤22,非常勤3)、看護職員(4)、栄養士(1)					
3. 事業(サービス提供)の概要						
(1)委託事業	入所者の健康管理、機能訓練、生活介助{食事、介護(排泄・入浴援助)}、地域ボランティア活動支援、年間防災訓練などの事業。併設事業として短期入所生活介護の運営。施設、付属設備及び物品の保全。施設内の清潔整頓等					
(2)自主事業	自主事業は行っていない					
4. 予算決算の推移						
		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
予算	委託料	60,621,000	53,950,855	52,984,750	53,054,638	50,434,725
	利用料金収入	260,763,000	275,832,145	276,734,000	279,747,000	283,674,000
	その他収入	19,408,000	1,212,000	2,796,250	1,331,362	1,331,275
	管理経費	340,792,000	330,995,000	332,515,000	334,133,000	335,440,000
決算	委託料	60,621,000	53,945,814	52,981,862	53,054,638	50,434,725
	利用料金収入	281,805,933	282,847,715	276,917,224	283,626,044	281,634,017
	その他収入	31,299,095	8,352,500	17,593,061	15,809,709	1,091,479
	管理経費	344,512,220	322,315,482	343,420,110	325,821,784	336,520,964
	収支	29,213,808	22,830,547	4,072,037	26,668,607	-3,360,743
5. 施設の稼働状況等(活動指標)						
指標名称	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	
入所定員(ショートステイ含む)	人	67	67	67	67	
6. 成果指標						
指標名称	単位	目標値(27年度)	23年度	24年度	25年度	
利用率(特養+ショート)	%	99.0	96.6	99.5	98.1	
利用者数(特養+ショート)	人	24,220	23,687	24,327	23,988	

7. 平成25年度評価結果に対する現在までの取組み

昨年に引き続き適切な管理運営が行われており、空床を利用したショートステイを有効に活用することで、高い利用率を維持している。

8. 評価項目
 3：協定等の水準を上回っている。
 2：協定等の水準どおりである。
 1：おおむね協定等の水準だが課題がある。
 0：協定等の水準を下回っている。
 -：評価対象外項目。

評価の観点	評価項目			
(1)事業の運営 平均 [2.0]	(a)施設の目的達成 [2]	(f)開館時間等の遵守 [2]	(g)自主事業の成果 [-]	(h)個人情報保護 [2]
	(b)サービス水準 [2]	(i)緊急時対応 [2]	(j)警備・防犯体制 [2]	
	(c)職員配置 [2]	(e)危険箇所等の確認 [2]	(f)管理記録の作成・保存 [2]	
	(d)職員研修 [2]	(g)業務委託の事前承認 [2]	(h)省エネ・省資源・環境配慮 [2]	
	(e)案内・接遇 [2]	(d)利用しやすい環境整備 [2]	(e)関係団体・地域との関わり [2]	
(2)施設の維持管理 平均 [2.0]	(a)建物保守・設備機器点検 [2]	(c)収支計画の達成 [2]	(d)利用料等の徴収・管理 [2]	
	(b)備品の管理 [2]			
	(c)清掃・衛生管理 [2]			
	(d)施設の修繕 [2]			
(3)利用者の満足度 平均 [2.0]	(a)利用者・第三者機関の評価 [2]			
	(b)苦情・要望への対応と報告 [2]			
	(c)利用者数の目標達成 [2]			
(4)収入支出 平均 [2.0]	(a)適正な予算執行 [2]			
	(b)管理経費の効率化 [2]			

9. 評価
 S（水準以上）：協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。
 A（適正）：協定等の水準を満たす管理が行われている。
 B（一部課題あり）：協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。
 C（課題あり）：協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。
 D（水準未滿）：協定等の水準を満たしていない。

評価の観点	評価	説明
(1)事業の運営	A	全体的に適切な事業運営がなされている。また、利用者の方が動物と触れ合うことができるアニマルセラピーを実施するなど、サービスの充実に努めている。
(2)施設の維持管理	A	各種保守点検及び清掃・衛生管理において、適切な維持管理が行われている。
(3)利用者の満足度	A	利用者満足度調査でも概ね高い評価を得ている。昨年度に比べ利用率は若干下がったものの、空床を利用したショートステイを活用するなど、利用率を維持している。
(4)収入支出	A	運営資金借入金の償還に伴い、単年度収支ではマイナスを計上しているものの、前年度末の資金残高より補填されており、適切な予算管理がなされている。

10. 総合評価 良好 妥当 要努力 要改善 不適

妥当	施設の事業・管理運営については、適切に行われている。空床を利用したショートステイやサービスの充実に努めており、利用率を維持している。
-----------	--

11. 平成26年度評価結果に対する今後の対応

今後も特養の空床を利用したショートステイを有効に活用し、利用率の維持に努めていく。また、施設の老朽化に伴う適切な施設保全に取り組み、より良いサービスの提供に努めていく。